

各位

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社

～健康経営優良法人（ホワイト500）に初認定～  
“より働きやすい会社を目指して”

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社（本社 東京都江東区、代表取締役社長 川村豊）は、健康経営に関する取り組みが評価され、健康経営に優れた企業として経済産業省と日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人 2026 大規模法人部門（ホワイト 500）」に初めて認定されたことをお知らせいたします。

当社は、多様な人材がいきいきと活躍できる職場環境を構築するため、健康経営の推進に取り組んでいます。

今後も従業員が働きがいを持って、安心して働ける環境作りを積極的に推進してまいります。

■主な取り組み

- ・全社一丸となった健康経営を推進するため、代表取締役社長を委員長、人事部管掌役員を副委員長、部門長を委員とする「健康経営推進委員会」を軸とした運営。
- ・定期健康診断やストレスチェック結果などをもとに従業員の健康状況を分析。保健師・産業医と密に連携し、フィジカル・メンタルの両面からの健康をサポート。
- ・従業員の健康リテラシー向上のため、各種セミナーや健康維持増進のための各種イベントを継続的に実施。
- ・従業員への運動機会提供とコミュニケーション活性化のため、社内部活動への支援やボレーリング大会・フットサル大会などのスポーツイベントを開催。
- ・育児・介護・病気と仕事の両立支援のための従業員への情報発信、体制や制度の整備。

- 健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。
- 大規模法人部門認定法人の中で、健康経営度調査結果の上位 500 法人が「ホワイト 500」として認定されます。



■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪とらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活カ」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 [https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg\\_csr/approach/materiality/](https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/)

<お問い合わせ先>

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社 経営企画部 TEL：03-3534-3160